

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
活動指標1	スポーツ・レクリエーション団体数	目標値	団体	3.00	3.00				
		実績値		3.00	3.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		体育協会・レクリエーション協会・スポーツ少年団の3団体/補助金交付関係書類による						
実績値の算出式									
成果指標1	3団体の登録会員数	目標値	人	17,000.00	17,000.00				
		実績値		15,194.00	14,437.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		前年度実績による / 報告書による						
実績値の算出式									
成果指標2	市民大会等開催回数	目標値	回	36.00	36.00				
		実績値		40.00	32.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		前年度実績による / 報告書による						
実績値の算出式									
成果指標3	教室等開催回数	目標値	回	35.00	35.00				
		実績値		11.00	16.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		前年度実績による / 報告書による						
実績値の算出式									
成果指標4	市民大会等参加者数	目標値	人	18,000.00	18,000.00				
		実績値		13,401.00	14,218.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		前年度実績による / 報告書による						
実績値の算出式									
	教室等参加者数	目標値	人	1,900.00	700.00				
		実績値		627.00	611.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		前年度実績による / 報告書による						
実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	スポーツ協会、レクリエーション協会、スポーツ少年団の3団体が問題なく活動できている。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	C	登録会員数は減少が続き、大会回数や教室参加者数も減少したが、教室開催回数や大会参加者数は増加。
			評価者 生涯スポーツ係長 持田 真吾

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	各団体が開催する大会や教室の受付窓口等の運営支援業務を委託することにより、効率的な業務運営が行われている。
			評価者 生涯スポーツ係長 持田 真吾

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	スポーツ・レクリエーション団体活動支援事業	担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯スポーツ係	管理番号	73231
<input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入) <input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続 <input type="checkbox"/> ③見直して継続 <input type="checkbox"/> ④目的達成による終了 <input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討		<input type="checkbox"/> 委託化等の検討 <input type="checkbox"/> 成果向上のための改善 <input type="checkbox"/> 効率化のための改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の縮小 <input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合		評価の内容説明 少子高齢化による人口の減少が問題となる中、スポーツ団体等の登録会員数も減少の一途を辿っている。しかしながら、各団体がスポーツ・レクリエーション活動の中心を引き続き担うことが不可欠であり、活動支援を今後も継続していくことが必要である。			
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	生涯学習スポーツ振興課長 荻塚 洋明				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

